

長崎大学

「世界モスクイトデイ」イベント

—蚊と蚊がもたらす病気について知ろう！—

開催・運営ハンドブック



世界モスクイトデイ2016イベント運営委員会

はじめに

1. 運営委員会立ち上げ	3
2. 企画案作成	3
3. 運営マニュアル	
3.1. 準備	
3.1.1. 学内関係部署の同意・協力	4
3.1.2. 開催日確定	4
3.1.3. 会場確定	4
3.1.4. 予算確保	5
3.1.5. 運営実行スタッフ募集	5
3.1.6. プロジェクトタイムライン作成、担当責任者決定	6
3.1.7. チラシ、ポスター	6
3.1.8. 広報活動	6
3.1.9. イベント参加者募集	8
3.1.10. イベント参加者決定、通知	8
3.1.11. 当日プログラム、詳細決定	8
3.1.12. 必要備品等購入、手配	9
3.1.13. メディア対応	10
3.1.14. スタッフ事前研修	10
3.1.15. 学内事務手続き	10
3.1.16. 当日参加者配布資料作成	11
3.1.17. 会場設営	12
3.2. 当日	
3.2.1. スタッフ最終打合せ	12
3.2.2. 正門付近・会場前ポスター掲示	12
3.2.3. 映像・音響最終確認	12
3.2.4. 会場設営・備品最終確認	12
3.2.5. 参加者来場受付	12
3.2.6. メディア対応	12
3.2.7. 記録	13
3.2.8. 後片付け	13
3.3. 開催後	13
4. 添付資料	14

はじめに

8月20日は蚊がマラリアを媒介することが発見された日にちなみ「世界モスキートデー」と呼ばれている。長崎大学ではこの世界モスキートデーに向け、「世界モスキートデー2016イベント」として「蚊学入門」と「蚊学教室」を開催。

本イベントは2015年に長崎大学熱帯医学研究所フィラリアNTD室 一盛和世 教授のもと、同学熱帯病・新興感染症感染制御グローバルリーダー育成プログラムの学生（森保妙子、嶋田聡、今西望）が同学熱帯医学研究所病害動物学分野 砂原俊彦 助教と共に企画運営した「世界モスキートデーイベント 蚊と蚊がもたらす病気を知ろう！」が始まりである。メディアにも大きく取り上げられ、参加者からも好評であった。さらに希望する声が多かったため、翌2016年も開催する運びとなった。2016年は上記メンバーに実行グループ学生（同学熱帯病・新興感染症感染制御グローバルリーダー育成プログラム 藤岡充史）や執行部教員（同学熱帯医学・グローバルヘルス研究科 佐藤美穂 助教）、執行部職員（同学熱帯医学研究所熱帯医学ミュージアム 荒木一生、フィラリアNTD室 馬場由妃子）を加え、授業型イベント「蚊学入門」と実習型イベント「蚊学教室」の2つを実施した。

このイベントは長崎大学の地域・社会貢献として長崎大学また、長崎大学熱帯医学研究所のプレゼンスを高めるものであり、今後も継続して開催することが望まれる。

本書はその開催・運営のためのノウハウをまとめたハンドブックである。今後さらに、他大学やその他機関による同様のイベント開催の機会に役立てば嬉しい限りである。

世界モスキートデー2016イベント運営委員会

【代表】

長崎大学熱帯医学研究所：
フィラリアNTD室 ディレクター・一盛和世

【執行部】

長崎大学熱帯医学研究所：
熱帯医学ミュージアム 教授・堀尾政博、技術職員・荒木一生
病害動物学分野 助教・砂原俊彦
フィラリアNTD室 事務補佐員・馬場由妃子

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科：
助教・佐藤美穂

【実行グループ（代表）】

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科：
熱帯病・新興感染症感染制御グローバルリーダー育成プログラム学生
嶋田聡、森保妙子、今西望、藤岡充史

1. 運営委員会立ち上げ

代表、運営委員会サミットメンバー（執行部、実行グループ代表）選考

2. 企画案作成

ビジョン、目的、イベント組織、実施内容、実施日、実施場所、予算、ポジションステートメント

2.1. ビジョン

(2016年度)

「長崎大学を蚊学の拠点に！」

地域に貢献できる長崎大学および熱帯医学研究所をめざし、地域のヘルスエデュケーションの一端を担い、感染症/熱帯病の分野で活躍できる次世代の人材を育成する。

2.2. 目的

(2016年度)

① 地域貢献

長崎大学の認知が上がり、地域に愛される大学になる。

熱帯医学ミュージアムの来館者が増え、地域の資源として活用される。

② 住民教育

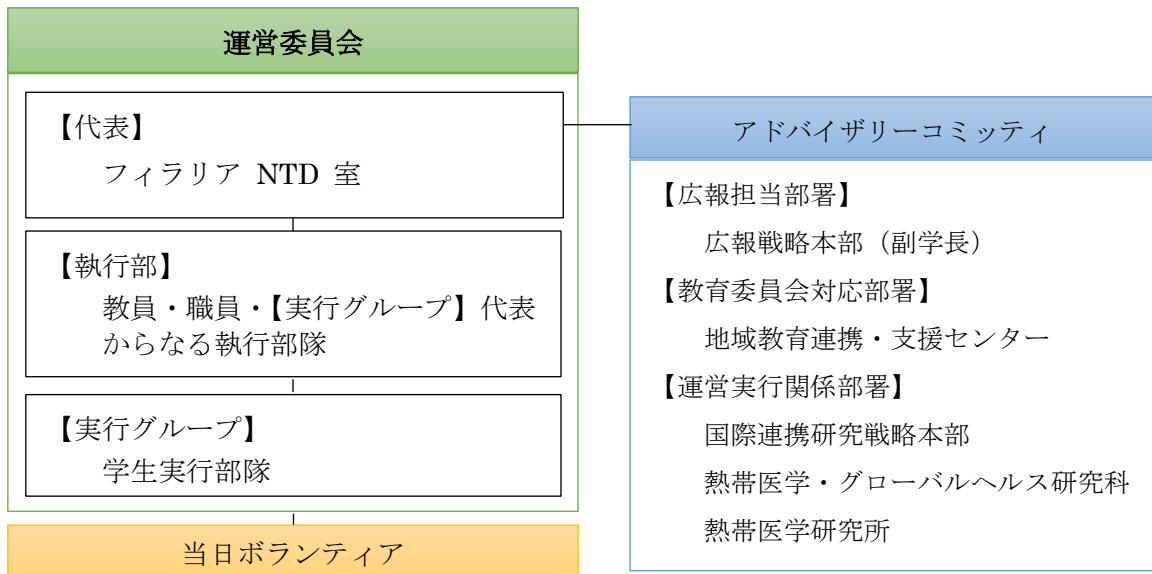
イベント参加者の蚊および熱帯病に対する知識を増やし、さらなる興味を引き出すことにつながる。

③ 人材育成

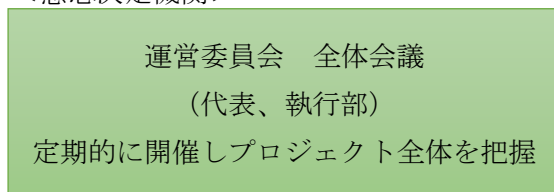
運営にかかわる学生のリーダーシップやコミュニケーション能力が向上する。

2.3. イベント組織

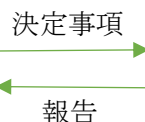
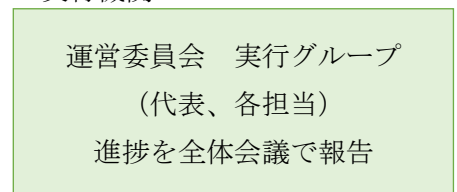
(2016年度)



<意思決定機関>



<実行機関>



3. 運営マニュアル

3.1. 準備

3.1.1. 学内関係部署の同意・協力

「企画案」を提示し、同意・協力を得る
前年度活動報告等も参考資料として提出

【広報担当部署】(副学長)：広報戦略本部

大学主催イベントとして開催するため

【教育委員会対応部署】：地域教育連携・支援センター

小中学校を通して広報(チラシ配布)のため

【運営実行関係部署】：国際連携研究戦略本部、熱帯医学・グローバルヘルス研究科、熱帯医学研究所

教員・職員・学生の活動参加の承認、また開催場所提供の協力を得るため

3.1.2. 開催日確定

<参考情報>

- 8月9日(原爆祈念日)前後はメディア取材およびメディアへの露出が減る
- 長崎市内小中学校登校日を避ける。8月9日(確定)および8月20日前後(休日を考慮して決まる)
- 自由研究に利用したい参加者が多い。長崎市内小中学校の自由研究提出期限は8月20日の登校日が多いため、それに間に合う日程の要望が多い

[2016年度]

以上3件を考慮し、お盆の時期を避けて

8月1日(月)「蚊学入門」

8月5日(金)「蚊学教室」の開催を決定

7月の開催も検討されたが、世界モスキートデイが8月20日のため8月開催とした

「蚊学入門」を月曜開催としたため、前週金曜から準備をしておきたかったが、土曜日に別のイベントで同会場を使用のため休日(日曜日)に準備をすることになった

3.1.3. 会場確定

目的、参加予定数、開催者側の利便性(同施設内で他のイベント開催はないか? など)、空き状況(準備、後片付けを含む)により会場を選定
会場が確定したら施設利用の手続きをとる

- 授業型イベント「蚊学入門」(市民公開講座)

長崎大学坂本キャンパス

◇ 良順会館2階ボードインホール 定員215名

- ◇ 医学部記念講堂 定員 434 名
- ◇ ポンペ会館 1 階大部屋 定員 126 名
- など

[2016 年度]

2015 年度（土曜日午前中開催）同様に良順会館 2 階ボードインホールを予定していたが、同日に 1 階で職員健診実施のためポンペ会館 1 階大部屋へ変更。ロビー・談話室も有効に使い、結果的には良かった。ただし、150 名を超える参加があり椅子が不足した。また、座席が階段状ではなく、スクリーンが前方に 1 つのみのため後方座席ではスライドが見づらいとの指摘があった。

- 実習型イベント「蚊学教室」
- 長崎大学坂本キャンパス熱帯医学研究所

[2016 年度]

- ◇ 受付：熱帯医学ミュージアム前ホール
- ◇ 開会・閉会：グローバルヘルス総合研究棟 1 階大セミナー室
- ◇ 顕微鏡観察：グローバルヘルス総合研究棟 3 階実習室
- ◇ ミュージアム見学：熱帯医学ミュージアム
- ◇ 野外観察：文教キャンパス構内（原爆犠牲者慰霊碑、グビロが丘付近）
- ◇ 展示：グローバルヘルス総合研究棟 1 階エントランスホール

3.1.4. 予算確保

どの予算を使うのか？検討する

外部資金を獲得する場合は各企業・団体などへ依頼

運営委員会代表→各企業・団体へメールにて依頼（「世界モスキートデイイベントへの協賛のお願い」参照）「イベントチラシ」「寄附金申込書」「寄附金取扱規定」を添付（<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/endowment/01/index.html>）

必要に応じて前年度報告書も送付する

先方が寄附金ではなく、イベント協賛金としての取扱を希望される場合は「イベント協賛金申込書」にて対応（「イベント協賛金申込書」参照）事務管理係（主査）へ連絡し入金処理について確認する。

（「寄附および協賛企業・団体一覧」参照）

3.1.5. 運営実行スタッフ募集

- 運営実行委員
- 当日ボランティアスタッフ

[2016 年度]

- ◇ TMGH 学生、教職員対象説明会（執行部教員）
- ◇ 熱帯医学研究所教職員メーリングリストによる募集（執行部職員）
- ◇ 長崎大学ボランティア登録サイト「やってみゅーでスク」に登録（実行グル

ープ担当者) <http://yattemyudesk.matrix.jp/yattemyudesk/index.php>

☆ 個別リクルート (運営実行委員各々)

※2016年度は当日スタッフへの交通費の支給はなし。昼食用軽食および飲料についてはフィラリア NTD 室より提供があった。交通費、昼食代については、イベント予算に入れることも要検討

3.1.6. プロジェクトタイムライン作成、担当責任者決定

「何を」「いつまでに」「誰が」を明確に

(「世界モスキートデイイベント Timeline」参照)

3.1.7. チラシ、ポスター

チラシおよびポスターの原稿を作成、印刷

<原稿>

掲載内容は必要十分で。多すぎても少なすぎてもわかりにくい

インパクトのあるビジュアルに

[掲載内容]タイトル、日時、場所、参加対象者、申込みの有無、申込み方法、申込み期限、問合せ先、会場までのアクセス、当日プログラム、主催、協賛、協力

<印刷>

調達課を通して発注可。ただし、外注のほうが安価な場合が多い。

デザインは発注先の指定フォーマットを確認して作成する。

[2016年度]

デザイン：運営委員会（実行グループ担当者）作成、ポスターはチラシ表面を使用

チラシ印刷：A4 両面カラー 5,000 枚

校費での取扱が可能な業者へ発注

ポスター印刷：A2 片面カラー30 枚

熱帯医学ミュージアムへ依頼（執行部職員）

*A2 は大きすぎて掲示場所を限定された。A3 サイズでもよいかも。

3.1.8. 広報活動

(ア) チラシ配布、ポスター掲示（「ロジ班（募集要項配布）」マニュアル参照）

広報担当部署（広報戦略本部・副学長）へ通知（チラシ・ポスター送付）

➤ 近隣小中学校へチラシを生徒・児童数送付

① 教育委員会対応部署（地域連携教育・支援センター）に連絡し、運営委員会代表より県・市教育委員会長へそれぞれ通知。

② 送付する小中学校を選定

③ 各学校の在籍生徒・児童数を調べ、チラシを送付する
生徒・児童数参照先

(長崎県 HP) http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/gakkokyoiku/edu_statistics/kihonkekka/

- 市内公共施設に(長崎県美術館、長崎市科学館、長崎歴史文化博物館、長崎市立図書館など)ポスター掲示、およびチラシ配置を依頼(「チラシ配布に関する情報」マニュアル参照)
- 近隣自治会への配布を担当部署(熱研ミュージアム)へ依頼
- 学内各掲示板、モニターにポスター掲示、および掲示(放映)依頼(熱研、TMGH、生協、医歯薬、文教キャンパス)
- 市内小児科医院にポスターの掲示を依頼する(医師会に問合せ)←2016年度は実施せず

(イ) 大学 HP へイベント情報を掲載

学外広報担当部署(広報戦略本部)へ依頼

(ウ) プレスリリース(「メディア/プレス担当」マニュアル参照)

原稿を作成し学外広報(広報戦略本部)へ依頼

リリースの時期、回数などは担当部署(広報戦略本部)と相談

<原稿の内容について>

- ☆ メディア側に掲載価値があると判断されるよう、開催趣旨を時事問題にからめ、市民の関心をひくような情報を発信することが重要
- ☆ 当日の取材について事前に申し込みをしてもらうよう明記する

[2016年度]

原稿: 1回目分は運営委員会(実行グループ担当者)作成。2回目以降は広報戦略本部にて作成いただいた。

プレスリリース日程:

1. 6/30 「蚊と蚊がもたらす病気」を学ぶ体験型イベント
「世界モスキートデイ2016」を長崎大学熱帯医学研究所で開催
2. 7/27 8月開催の「蚊学入門」と「蚊学教室」の取材について
3. 8/3 8月5日開催「蚊学教室」の取材について

(エ) その他(「メディア/プレス担当」マニュアル参照)

- 株式会社 JS コーポレーション

学校ポータルサイト「JS88.com」内コンテンツ 夏休み特別企画
「体験イベント in 大学」

[2016年度]

JS コーポレーションから広報戦略本部を通して掲載依頼あり

このサイトを見てNHK「あさイチ」より問合せがあり番組内で紹介された

4/27 広報戦略本部より通知あり

5/31 原稿提出期限

6/17 Web 公開

- 広報ながさきに情報掲載依頼（長崎市役所に問合せ）
[2016 年度]
6/8 電話にて問合せ。広報ながさきには長崎市主催以外のイベントの掲載実績なし。もし、載せるとしてもすでに 7 月号には間に合わない。
- 長崎大学広報誌「Choho」に取材依頼
[2016 年度]実績なし
- 過去に取材いただいたプレスの方の名刺を元に、今年の開催要項を送り、取材依頼
[2016 年度]実績なし。2016 年度取材メディア各担当者連絡先については「メディア一覧」参照
- 地元メディア（ケーブル TV、FM 局）などに依頼
[2016 年度]実績なし
- 子ども新聞へ取材依頼
[2016 年度]西日本新聞へ依頼はしたが返答なし。実績なし

3.1.9. イベント参加者募集

チラシに募集要項を掲載（申込みの要・不要、申込み方法、〆切）

[2016 年度]

定員のある「蚊学教室」のみ事前に参加者を募集

往復ハガキによる応募のみ受付

往信裏：住所、氏名（ふりがな）、学年、保護者氏名、緊急連絡先

返信表：返信先住所、氏名

3.1.10. イベント参加者決定、通知

[2016 年度]

「蚊学教室」定員 30 名予定のところ応募者数 131 名

学年、兄弟での応募を考慮し抽選した結果 43 名が当選（運営委員会にて抽選）

「抽選結果」「当日の案内」「『蚊学入門』開催について」を返信ハガキにて通知

3.1.11. 当日プログラム、詳細決定

テーマ、ビジョン、期待される効果に基づき内容を検討

事前申込みを必要としない場合は参加者の人数・年代が予測できないことを考慮して検討

- 当日詳細プログラム

蚊学教室：「プログラムの学習目標」「実際のコンテンツ」マニュアル参照

- 全体進行表

- 人員配置

小中学生が多数参加することを考慮して安全、わかりやすさに配慮する

- 会場内見取り図、動線
小中学生が多数参加することを考慮して安全、わかりやすさに配慮する

3.1.12. 必要備品等購入、手配

- スタッフ T シャツ
イベント開催時に一目でスタッフとわかるものがよい
2015 年、2016 年度は黄色を採用
[2016 年度]
2015 年度のものを再利用。不足分について同じものを作成
校費での取扱が可能な業者へ発注
- 「蚊学教室」傷害保険加入
真夏の野外活動があるため、参加者およびスタッフの不測の事態を想定して加入
 - イベント当日までに入金を完了させること
 - 校費から振込の場合、イベント開催の前々月末までに請求書を受け取る必要がある。他、私金立替にて処理することも可能。事務管理へあらかじめ相談
 - 開催日時、開催場所、参加人数（参加者＋スタッフの概算でよい）、補償内容を伝え見積りを依頼する。
見積り依頼→保険契約申込み→請求書受取→担当事務へ提出→入金→契約成立→保険証券受取
 [2016 年度]
校費での取扱が可能な代理店にて契約
- 参加賞
[2016 年度]
 - 蚊博士認定証（「蚊学教室」のみ）
賞状用紙に印刷
 - イベントロゴステッカー
○型ラベル用紙に印刷、切り分けて配布
 - 下敷き（「いろいろな蚊」「蚊がもたらす病気」の情報掲載）
フィラリア NTD 室にて原稿印刷、各分野のラミネーターを借りて作成
 - イベントロゴ缶バッジ（「蚊学教室」のみ）
校費での取扱が可能な業者へ発注
57mm 缶バッジ（安全ピン）100 個
 - 長崎大学 3 色ボールペン（別イベント余剰品の提供）（「蚊学教室」のみ）
 - 長崎大学パンフレット（「長崎大学感染症ニュース」「長崎大学広報誌

Choho」 「長崎大学の研究者 Vol.1」 「長崎大学キャンパスマップ」 広報戦略本部に手配)

- 長崎大学紙袋 (広報戦略本部に手配)

3.1.13. メディア対応

- 事前に執行部事務担当へ取材申込みをしてもらう (プレスリリースに明記) 申込みがあれば「担当者」「連絡先」「取材時間」などを聞く 当日は必ず本部メディア対応で受付をするよう伝える
- 当日 受付時に取材に関する注意事項を伝える
 - 同意を得ていない個人が特定できる取材は許可しない
 - 子どもへの取材は保護者の同意を得ること

いつ掲載、放映されるか確認する

※参加者にメディアの取材が入ることを知らせる

(不同意の参加者への対応が必要)

- 終了後 掲載、放映を確認。またその内容を内部資料として入手する ※入手した映像は内部資料としての利用の範囲を超えないよう取扱に注意する

3.1.14. スタッフ事前研修 (「モスキートデイチューターマニュアル」参照)

スタッフ用資料配布 (連絡先リスト、当日進行表、プログラム内容詳細[めあて][注意事項]、チューターマニュアル)

イベントの趣旨説明

当日内容についての事前学習

予行演習 (参加者の年齢、理解力などを考慮した上で、予定しているプログラムが時間通りに進行できることを確認する)

3.1.15. 学内事務手続き

構内・施設利用のための手続き

参加者の安全を確保するための手続き

[2016年度]

- 構内交通規制 参加者の安全を考慮し「蚊学教室」当日のみミュージアム前駐車場および通路を規制 構内交通規制実施願 (モスキートデイ企画書を添付) を医歯薬総務管理係駐車場担当へ提出→後日承認の連絡あり
- 施設利用手続
 - ・ ポンペ会館、良順会館、医学部記念講堂：医歯薬総務課管理係施設貸付担当へ問合せ仮予約をする→施設利用予約票提出

- ・ TMGH 1F 大セミナー室、3F 実習室：CICORN 事務室紙ファイル記入
 - ・ TMGH 1F ロビー：CICORN 事務総務担当へ問合せ
 - ・ TMGH 1F 会議室：熱研施設予約システム入力
- 守衛室へイベント開催情報を通知
小中学生が多数来場することも併せて伝える
運営委員（執行部事務担当）→熱研事務（総務主査）→医歯薬総務管理係

3.1.16. 当日参加者配布資料作成

参加予定者数印刷、配布準備、記入用の筆記用具の手配

（当日取材メディア配布分も準備）

[2016 年度]

【蚊学入門】

- ・ スケジュール
- ・ アンケート
- ・ クイズ
- ・ 下敷き
- ・ イベントステッカー
- ・ 長崎大学パンフレット（「長崎大学感染症ニュース」「長崎大学広報誌 Choho」
「長崎大学の研究者 Vol.1」「長崎大学キャンパスマップ」）
- ・ 長崎大学紙袋

【蚊学教室】

- ・ スケジュール
- ・ アンケート
- ・ 写真掲載不同意書
- ・ 野外観察シート※
- ・ 顕微鏡観察シート※
- ・ ミュージウム見学シート※
- ・ クイズ
- ・ 下敷き
- ・ イベントステッカー
- ・ 長崎大学パンフレット（「長崎大学感染症ニュース」「長崎大学広報誌 Choho」
「長崎大学の研究者 Vol.1」「長崎大学キャンパスマップ」）
- ・ 長崎大学紙袋
- ・ 蚊博士認定証（閉校式にて授与）
- ・ イベント缶バッジ（閉校式にて授与）

※「野外観察」「顕微鏡観察」「ミュージウム見学」の3つのプログラムで配布したシートが判別しづらかった。プログラム毎に色分けするとわかりやすい。また、

メモを取りたい参加者が多いためメモ欄を設けたシートにし、全ての資料やシート、クイズをまとめた冊子状にしてもよいかもしれない。

3.1.17. 会場設営

- 設営が土日、早朝になる場合は事前に鍵を借りておく
- 参加者の動線に配慮
- 会場入り口、トイレの位置をわかりやすく示す
- 映像・音響確認
- 会場入り口（受付付近）の設営は来場者を惹きつけるものに！！
（例えば、熱帯をイメージし異空間を演出など「受付展示例」参照）

[2016年度]

前日に設営。「蚊学入門」を月曜開催としたため、前週金曜から準備をしておきたかったが、土曜日に別のイベントで同会場を使用のため休日（日曜日）に準備をすることになった

3.2. 当日

3.2.1. スタッフ最終打合せ

担当、タイムテーブル、注意事項を最終確認

問題が起きた場合は必ず本部へ連絡し指示を仰ぐことも確認

[2016年度]

学生スタッフの飲み物、昼食用軽食を準備（フィラリア NTD 室提供）

3.2.2. 正門付近・会場前にポスター掲示

守衛の担当者にも再度あいさつ

3.2.3. 映像・音響最終確認

3.2.4. 会場設営・備品確認

3.2.5. 参加者来場受付

- 正門→会場入り口→受付→会場内へスムーズに移動できるよう人員を配置し、誘導する
- 事前申込み有の場合は名前、学年を確認。間違いがあれば対応し全ての配布物、準備物を確認し訂正する
- 予定外の来場者（参加申込み無 etc.）があることも想定しておく

3.2.6. メディア対応

[取材メディアへの対応]

- メディア受付（本部）にて対応
- 取材時の注意事項を説明
 - ・ 同意を得ていない個人が特定できる取材は許可しない
 - ・ 子どもへの取材は保護者の同意を得ること
 - ・ 講演スライドの撮影については講師の意向を伺い対応する

- 参加者配布資料を参考資料として配布
- 掲載、放映の日時を確認する

[参加者への対応]

- 参加者へメディアの取材が入ることを説明。不都合がある場合はスタッフに知らせてもらうよう伝える。
- 参加者へ運営委員会にて撮影した写真、映像を当イベントの報告に使用する旨伝える。掲載不同意の参加者への対応をする
- 参加者自身による撮影について説明
講演のスライドについては講師の意向を伺う。撮影が許可されたとしても、個人的な利用に限ることを参加者に伝える。

3.2.7. 記録

写真、映像を残す

当日の全てが把握できるように、会場全体（外部・内部）や受付の様子、プログラムの目的や流れがわかるように撮影。イベント報告に使用する

3.2.8. 後片付け

原状回復！！電気・エアコン OFF を確実に
鍵の返却および、関係部署へイベント終了の報告

3.3. 開催後

- 反省会
- アンケート結果集計・分析
- 報告書作成（学内）
- 学内報告会開催（ランチタイムセミナーなど）
- 協賛企業・団体、関係各所へ報告・御礼。報告書を提出
- 掲載、放映された記事、映像を収集・保管
- ハンドブック見直し、改訂

4. 添付資料

1. 世界モスクイトデイイベント **Timeline**
2. 世界モスクイトデイ2016イベント ポジションステートメント
3. 世界モスクイトデイ2016イベント『蚊と蚊がもたらす病気について知ろう』活動報告書
4. 世界モスクイトデイ2016-蚊と蚊がもたらす病気について知ろう-イベント報告会プレゼンテーション
5. 平成27年度世界モスクイトデイ活動報告書 蚊と蚊がもたらす病気を知ろう！
6. 「世界モスクイトデイイベントへの協賛のお願い」
7. 「イベント協賛金申込書」(内部資料)
8. 「寄附および協賛企業・団体一覧」(内部資料)
9. 「ロジ班(募集要項配布)」マニュアル
10. 「チラシ配布に関する情報」マニュアル
11. 「メディア/プレス担当」マニュアル
12. 「メディア一覧」(内部資料)
13. 「プログラムの学習目標」「実際のコンテンツ」マニュアル
14. 「モスクイトデイチューターマニュアル」
15. 「受付展示例」

2017年3月発行

<発行者>

長崎大学熱帯医学研究所フィラリア NTD 室

ディレクター 一盛和世

長崎県長崎市坂本 1-12-4

(095)819-8589

